

(株) ハイテクス 環境行動計画

平成 25 年 1 月 17 日

取 組 方 針

株式会社ハイテクスは、機械の設計を通じて、地域に密着した技術支援サービスの提供を行っております。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指します。私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするため、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

- ① 省エネルギーにより、地球温暖化防止に努めます
- ② 廃棄物の削減とリサイクルを取り組みます
- ③ 省資源の有効な利用を図ります

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 25 年 1 月 7 日

株式会社ハイテクス

代表取締役 桶谷 善徳

■ 環境負荷低減へ取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標達成するための具体的な数値を設定し、取り組むことにします。設定した取組目標と具体的な数値目標は次の通りです。

目標-1	二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を、平成 23 年度を基準として平成 25 年度までに 3%削減する 119.5 (kg-CO ₂) /百万円 → 115.9 (kg-CO ₂) /百万円
具体的な取組	(事務所での取組) ① 冷房温度（28℃）と暖房温度（20℃）を厳守する。 ② 空調機下にファンを取付け、空調の出力量を削減する。 ③ 事務所内窓にブラインドを設置し、採光を調節し、事務所内の気温を調整する。 ④ 電灯を省エネタイプ LED に取り替える。 ⑤ 昼休みの消灯、パソコンの省エネ運用を徹底する。 ⑥ OA 機器の節電機能を必ず活用する。 ⑦ 電気使用量の社内掲示。 ⑧ 制服上着を、夏-ポロシャツ、冬-厚手タイプに切り替えて、クールビズ・ウォームビズに努める。 (車両使用に関する取組) ① エコドライブを推進し、燃費改善に努める ② 車両の使用を必要最低限に抑える。 ③ 近距離通勤ならば、自転車通勤を推奨する。 ④ 客先打合せ時の直行直帰を推奨する。

目標-2	一般廃棄物の排出量は、現状は測定しない為、今後は測定し、把握した上で、目標数値を設定し、削減する。
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <p>① 廃棄物は、決められたゴミ箱（可燃ゴミ、埋め立てゴミ、空き缶、空き瓶、ペットボトル、プラスチック、雑誌、ダンボール）に、分別して出す。</p> <p>② リングファイルは、繰り返し使用する。</p> <p>③ 休憩室に保温ポットを置き、お湯・お茶を準備し、マイコップを推奨する。</p>

目標-3	<p>コピー用紙の使用量（売上高当たり）を、23年度を基準として25年度までに3%削減する。</p> <p style="text-align: center;">5.4 (kg) /百万円 → 5.2 (kg) /百万円</p>
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <p>① コピー機本体を省エネタイプに切り替える。</p> <p>② コピー機使用をカード式にし、初歩的な無駄削減に努める。</p> <p>③ スキャナーし、PDF化によって、ペーパーレスを推進する。</p> <p>④ コピー、印刷する前に印刷が必要かどうか確認する。</p> <p>⑤ 縮小コピー（Nアップ）、裏紙利用に努める。</p> <p>⑥ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する。</p> <p>⑦ 印刷ボタンを押す前に、必ず設定を確認する。</p>

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって、環境保全活動を推進するために、社長を委員長とする環境推進委員会を半年に1回を目処として開催し、全従業員が「具体的な取組」を実行します。

